

令和8年度日本水環境学会東北支部セミナー

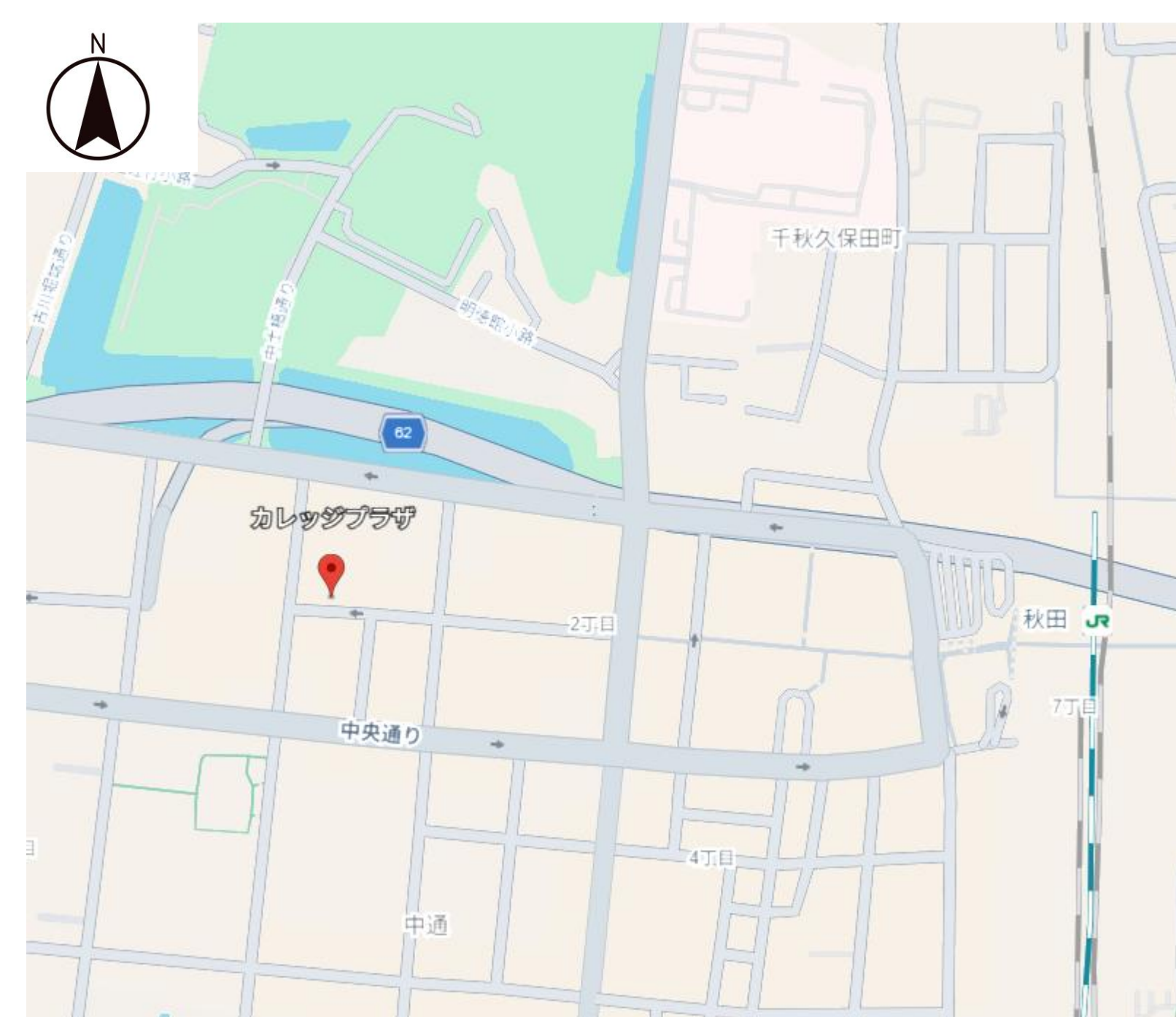
—八郎湖の水環境保全に向けた 最新の研究動向と取組について—

八郎湖では、長年にわたり水質改善に向けた様々な取組が進められてきましたが、流域からの栄養塩流入や湖内における物質循環など依然として多くの課題が残されています。近年ではリモートセンシングを活用した水質評価や、生態系の健全性を評価する新たな指標の開発、環境配慮型農業の推進など、水環境の保全・再生に向けた様々な研究や取組が進められています。

本セミナーでは、八郎湖における流域に関する最新の研究や取組を紹介します。これらを通して、八郎湖の水環境の現状と課題を共有するとともに、持続可能な水環境の保全・再生に向けた今後の展望について考えます。

日時：2026年10月3日（土）13:00-16:50

場所：カレッジプラザ 講堂
（秋田県秋田市中通2丁目1-51）



プログラム

13:00-13:05 開会の挨拶 日本水環境学東北支部長 中野和典

13:05-13:45 リモートセンシングデータを用いたデジタル技術による
八郎湖の水質推定 秋田大学 景山陽一

13:45-14:25 八郎湖流域の窒素・リン循環をつなぐ硫黄
秋田県立大学 早川敦

14:25-15:05 八郎湖における水質保全対策の取組
秋田県生活環境部 石田頼子

15:05-15:25 小休憩

15:25-16:05 八郎潟干拓地における水田管理（無代かき・初期落水）
によるメタン放出削減効果 秋田県立大学 高階史章

16:05-16:45 八郎湖における高度不飽和脂肪酸産生と生態系健全性の
評価に関する基礎的検討 秋田県立大学 宮田直幸

16:45-16:50 閉会の挨拶 日本水環境学会東北支部幹事長 渡部徹

17:30-19:30 情報交換会

参加申し込みは下記アドレス又はQRコードから参加登録フォームに
アクセスして必要情報をご記入ください。
<https://forms.gle/mayE5f6PHc2WpmEm7>

問い合わせ：日本水環境学会東北支部幹事
渡邊俊介（s-watanabe@akita-pu.ac.jp）

